

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		都市計画道路整備プログラム事務			事業コード	0713
担当課等	所属名	建設部 交通政策課		担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	建設部 交通政策課 菅原 隆彦	電話番号	2764

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	総合交通体系の確立	コード 1	関連予算費目名	一般会計 8款 4項 5目 都市計画変更事務(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (22年度 ~ 32年度)					
事務事業の概要	盛岡市が施行を予定している市街化区域内の都市計画道路の未整備路線について、効果的かつ効率的に整備を行うため、整備スケジュール(プログラム)を策定するとともに、進捗状況を把握し概ね5年ごとに見直しを行う。					
根拠法令等	市総合計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成12年度に策定した既定の都市計画道路整備プログラムの計画期間が終了するとともに、もりおか交通戦略において将来道路網計画の検証を行ったことを受け、平成32年度を目標とする整備プログラムの策定を行ったもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民からは土地の有効活用等のため路線の整備時期を知りたいとの要望があるほか、議会等から実現性を踏まえた整備計画とするよう意見が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成19年度に策定した盛岡市総合交通計画において、自家用車利用から公共交通や自転車への転換を図ることを基本方針としており、道路網もこれらの施策を支える視点で整備を行う位置づけとしている。また、事業に欠かせない国の助成制度が「社会資本整備総合交付金」に移行し、道路整備単体ではなく地域に必要な総合的な事業に対する補助制度になっており、総合的な交通計画に基づく整備が求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市の将来道路網計画に対する未整備の都市計画道路	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市の将来道路網計画に対する未整備の都市計画道路延長	単位	km
				B. 道路整備プログラムに位置づけられている路線の延長	単位	km
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・新たな都市計画道路整備プログラム(案)を議会等に説明するとともにパブリックコメントを実施した ・新たな都市計画道路整備プログラムを策定した ・新たな都市計画道路整備プログラムを市のホームページで公表した 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・整備プログラムに基づく、整備状況を把握する ・都市計画道路の整備状況を公表する	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 道路整備プログラムに位置づけられている路線のうち整備中及び整備済みの路線延長	単位	km
				B. 住民説明会、懇談会開催回数	単位	回
				C. ホームページへの公開	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・都市計画道路の整備スケジュールの目標を示すことにより、都市計画道路の計画的・段階的な整備が可能になる。 ・建築等に際して、住民の計画的な土地活用が可能になる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 道路整備プログラムの達成状況(プログラムに位置づけられている路線のうち整備中及び整備済みの路線延長/道路整備プログラムに位置づけられている路線延長) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. ホームページへの月間アクセス数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	アクセス
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	総合的な交通体系が確立され、快適に移動できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市の将来道路網計画に対する未整備の都市計画道路延長	km	104.77	104.77	104.77	101.00	101.00	101.00	年度
対象 指標B	道路整備プログラムに位置づけられている路線の延長	km	7.14	7.145	7.14	6.80	6.80	6.80	32年度 6.8
対象 指標C									年度
活動 指標A	道路整備プログラムに位置づけられている路線のうち整備中及び整備済みの路線延長	km	3.68	4.81	4.81	4.06	4.19	4.19	32年度 6.80
活動 指標B	住民説明会、懇談会開催回数	回	5	12	10	6	20	20	年度
活動 指標C	ホームページへの公開	回	1	1	2	2	1	1	年度
成果 指標A	道路整備プログラムの達成状況(プログラムに位置づけられている路線のうち整備中及び整備済みの路線延長/道路整備プログラムに位置づけられている路線延長)	%	51.51	67.34	67.34	59.71	61.62	61.62	32年度 100
成果 指標B	ホームページへの月間アクセス数	アクセス	137	148	200	1019	200	200	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	0	0	500	200	200		****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	0	500	200	200	0	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	0	500	200	200		****
	延べ業務時間数	時間	400	2,000	2,000	2,000	400	400	****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,600	8,000	8,000	8,000	1,600	1,600	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,600	8,000	8,500	8,200	1,800	1,600	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 都市計画道路の整備プログラムは、もりおか交通戦略の施策を支える都市計画道路の効率的、効率的な整備を進めるものであり、総合的な交通体系が確立され快適に移動できることに結びついている。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 社会基盤である都市計画道路の整備に関するプログラムであることから、基本的に市で行うべき事業である。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象は将来道路網計画のうち、市で整備が必要な路線であり広げることにはできない。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 実現性を踏まえた計画として、概ね10年後を目標とする整備計画は妥当である。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 整備予定区間の施工順序等の工夫により、早期に整備効果が得られる可能性がある
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 都市計画道路の計画的・段階的な整備が出来なくなる。また、住民の計画的な土地利用に影響を及ぼす。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既にホームページでの閲覧としており、平成23年度は最低限のパンフレット作成部数であり、これ以上の削減はできない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の人件費は必要最低限である。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 代替案その1:整備区間内の施工順序の工夫等により、同一予算で早期に整備効果が得られるよう取り組む。 代替案その2:国の助成制度の動向及び事業の進捗状況を適切に把握し、適切な時期にローリングを行う。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ・早期に整備効果を得るため、整備状況や施工計画等、事業担当課との連携を密にする必要がある。 ・国の助成制度の情報を把握し、制度の趣旨に応じた適切な事業計画を策定する必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成16年度に策定した「都市計画道路見直しの今後の進め方について」方向性に基づき、新たな都市計画道路整備プログラムが策定され、前記方針に基づく取り組みに区切りが付いた。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>近年の国の補助制度は、大きく変化していると伴に、3月の震災による国の補助への影響も懸念されることから、細かなローリングを行うと伴に市民に情報を発信する。</p>														